

陳姿菁 近年學術著作

期刊論文

1. 陳姿菁 (2024, Dec). 「学習サポートアプリが低学力の日本語学習者の学習成果及び自律学習能力に及ぼす影響についての調査」. 『輔仁外語學報：語 言學、文學、文化』, 23, 69-102.
2. 陳姿菁 (2023, Mar) 「メタ認知と学習者の態度から『特級日本語会話』の学習者の成績に影響を与える要因を探る」 『東吳日語教育學報』, 56, 120-143.
3. 陳姿菁 (2022, Dec) 「Level-1 日語活動設計初探」 『輔仁外語學報：語言學、文學、文化』, 19, 133-160.
4. 陳姿菁 (2020, Dec) 「Level-1 の日本語活動の試み—キー・コンピテンシーの『態度』を中心に—」 『台湾日本語文学報』, 48, 271-295. (THCI)
5. 陳姿菁 (2020, Jul) 「OPI 的概念を取り入れた試み—非日本語専攻の初級学習者を例に—」 『輔仁外語學報—語言、文學、文化』, 16, 57-83.
6. 陳姿菁 (2019, Dec) 「台湾の高校における第二外国語としての日本語の教室活動の試み—日本語パートナーズの支援を例に—」 『台湾日本語文学報』, 46, 91-115. (THCI)
7. 陳姿菁 (2016, Dec) 「自己評価を用いた会話活動の可能性—第二外国語としての日本語授業を例に—」 『台湾日本語文学報』, 40, 257-278. (THCI)
8. 陳姿菁 (2014, Mar) 「日本語学習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」 『第 1 回アジア未来会議優秀論文集—アジアの未来へ—私の提案』 vol.1, Japan Book, 195-204.
9. 陳姿菁 (2014, Feb) 「「Can-do」を利用した道案内の試み—会話分析を通して—」, *Proceedings of the 18th Conference of The Japanese Studies Association of Australia: Peer-reviewed full papers*, 1-9. <<https://openresearch-repository.anu.edu.au/items/b12c2f8e-a3b1-4f1b-946f-a74e47bdf70e/full>>, (accessed 2024-08-14).
10. 陳姿菁 (2013, Jun) 「複雑な気持ちを言語化する授業の可能性—「中級日語会話」の学習者のフィードバックから—」 『淡江外語論叢』, 21, 207-227.
11. 陳姿菁 (2013, Mar) 「『好きなタイプ』を語る「高級日語会話」授業の実践—TAEの導入による変化の有無を中心に—」 『東吳外語學報』, 36, 1-22.
12. 陳姿菁 (2012, Dec) 「『高級日語会話』における思考力を高める試み—TAE 交差を中心に—」 『台大日本語文研究』, 24, 175-200. (THCI Core) .
13. 陳姿菁 (2012, Dec) 「表現力の向上を目指した『高級日語会話』における TAE 導入の可能性—学習者のフィードバックから—」 『台湾日本語文学報』, 32, 235-260.
14. 陳姿菁 (2012 年, Aug) 「複雑な気持ちを言語化する会話授業の実践—「恋人に振られ

- た」気持ちを例に—」, 『台湾日本語文学報』, 31, 273-294.
15. 陳姿菁 (2011, Dec) 「表現力の向上を目指す会話授業の試み—「高級日語 会話」を例に」, 『台湾日本語文学報』, 30, 441-464.
 16. 陳姿菁 (2011, Jul) 「TAE 理論を日本語読解授業への応用—抽象思考の練習を中心に—」 『日本語日本文学』, 36, 161-181.
 17. 陳姿菁 (2011, Jul) 「中国語あいづちの習得研究—日本人中国語学習者対面 会話データから—」 『輔仁學誌』, 44, 101-118.
 18. 陳姿菁 (2005, Nov) 「日・台の電話会話における新たなターンの開始—あいづち使用の有無という観点から—」 『世界の日本語教育』, 15, 41-58.
 19. 陳姿菁 (2005, Oct) 「『話者の移行期』に現れるあいづち—日本語, 台湾の「国語」と台湾語を中心に—」 『日本語科学』, 18, 25-46.
 20. 陳姿菁 (2002, May) 「日本語におけるあいづち研究の概観及びその展望」 『第二言語習得・教育の研究最前線—あすの日本語教育への道しるべ— 言語文化と日本語教育』 2002年5月増刊特集号, 日本言語文化学会 222-235.
 21. 陳姿菁 (2001, Jan) 「日本語の談話におけるあいづちの種類とその仕組み」 『日本語教育』, 108, 24-33.
 22. 陳姿菁・小熊利江 (2001, Mar) 「話題に対する聞き手の心的態度が発話のあいづちとうなずきの出現に及ぼす影響」 『人間文化論叢』, 3, お茶の水女子大学大学院人化研究科 237-247.

得賞

1. 陳姿菁 (2022) 「航空日本語学習者の自己評価、メタ認知、学習態度と成績の関連」 The 6th Asia Future Conference, Taiwan, Taipei, 2022年9月29日, オンライン, 290-299. (Best Presentation Award).
2. Chen, Tzuching (2020) A Study of Conversation Activities Using Self-assessment- An example of a Chinese as a Second Language Class -, The 5th Asia Future Conference, Alabang, Metro Manila & Los Baños Laguna, Philippines, January 11th, 2020. (Best Presentation Award)
3. 陳姿菁 (2013) 「日本語学習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」, 1st Asia Future Conference 2013, 2013年3月9日, タイ, バンコク. 優秀論文

専書及専書篇章

1. 陳姿菁 (2024) 『キー・コンピテンシーをどう教えるか—新学習指導要領を踏まえて—

【改訂版】瑞蘭國際出版

2. 陳姿菁 (2023)『キー・コンピテンシーをどう教えるか—新学習指導要領を踏まえて—』瑞蘭國際出版
3. 陳姿菁 (2021)「第四章 教材設計與適性學習」『日語文教材教法—A1、A2 級的教學設計』(陳淑娟主編),教育部分科教材教法專書編輯計畫:素養導向系列叢書,五南出版,71-96.
4. 陳姿菁 (2021)「第九章資訊科技融入日語文教學」『日語文教材教法—A1、A2 級的教學設計』(陳淑娟主編),教育部分科教材教法專書編輯計畫:素養導向系列叢書,五南出版,193-210.
5. 陳姿菁 (2013)『自己表現力を引き出す実践研究—TAE を中心に—』致良出版

學會・研討會論文

1. 陳姿菁 (2026)「航空日文 App 學習之認知負荷與後設認知初探」,第二十一屆台灣數位學習發展研討會 (Taiwan E-Learning Forum -TWELF 2026),2026 年 3 月 5 日,日月潭教育會館,台灣.
2. 陳姿菁 (2025)「台湾人大学生を対象とした日本語學習アプリ活用の有効性に関する予備研究」第 11 回日本語教育支援システム研究会 (CASTEL/J) 國際大会 (The 11th International Conference of Computer Assisted Systems for Teaching and Learning Japanese (CASTEL/J)), 2025 年 8 月 27 日, Keele University, UK, 69.114-2914-I-424-002-A1
3. 陳姿菁 (2024)「自立學習の調査結果と授業の感想から見た學習者の學習行動—日本語會話の學習者を例に—」, 2024 東アジア日本研究者協議會 第 8 回國際學術大會, 2024 年 11 月 9 日, 淡江大學, 台灣, 86.
4. 陳姿菁 (2024)「自己評価、自立學習、學習効果の相關—航空日本語の學習者を例に」The 7th Asia Future Conference, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand, 2024 年 8 月 11 日、オンライン,217-225.
5. 丹羽量久, 陳姿菁, 椿本弥生, 三宮真智子, 山地弘起 (2024)「大学生のメタ認知的評価と育成の実践的課題—日本・台灣からの報告—」(「メタ認知と學習効果の相關」担当),第 30 回大學教育研究フォーラム、2024 年 3 月 14 日 大學教育研究フォーラム実行委員會、124.
6. 陳姿菁 (2024)「學生能自主學習嗎?—以「航空日文」為例」,第十九屆台灣數位學習發展研討會 (Taiwan E-Learning Forum -TWELF 2024),2024 年 3 月 7 日,東海大學,台灣.

7. 山地弘起, 丹羽量久, 陳姿菁, Rayne A. Sperling (2023) 「大学生におけるメタ認知の評価と育成の課題ー日本・台湾・米国からの実践的報告ー」 (「台湾の日本語教育における MAI 活用:成績とメタ認知の関係から」担当)、日本教育工学会 2023 年春季全国大会自主企画セッション、2023 年 3 月 26 日、日本教育工学会、オンライン、25-26.
8. 陳姿菁 (2022) 「航空日本語学習者の自己評価、メタ認知、学習態度と成績の関連」 The 6th Asia Future Conference, Taiwan, Taipei, 2022 年 8 月 29 日, オンライン, 290-299. (Best Presentation Award) .
9. 陳姿菁・商珍綾 (2022) 「人名漢字研究」 The 6th Asia Future Conference, Taiwan, Taipei, 2022 年 8 月 27 日, 246-255. (Best Presentation Award)
10. 陳姿菁 (2021) 「オンライン日本語授業の試みー航空日本語を中心に」 2021 東アジア日本研究者協議会 第 5 回国際学術大会, 2021 年 11 月 27 日, オンライン.
11. 陳姿菁 (2021) 「学生自己評価と学習効果の一考察ーケーススタディを通して」 2021 年大葉大學應用日語學系學術研討會日語多元教學實踐與研究, 2021 年 10 月 30 日, 台湾, 彰化.
12. 陳姿菁 (2020) 「日本語会話授業の学習者の自己評価に影響を及ぼす要因の一考察」 2020 年度逢甲大学第 7 回国際学術シンポジウムー理論と実践のイノベーション:外国語教育と文学教育ー, 2020 年 10 月 17 日, 台湾, 台中.
13. Chen, Tzuching (2020) A Study of Conversation Activities Using Self-assessment- An example of a Chinese as a Second Language Class -, The 5th Asia Future Conference, Alabang, Metro Manila & Los Baños Laguna, Philippines, January 11th, 2020. (Best Presentation Award)
14. 陳姿菁 (2019) 「日本語パートナーズの支援活動の試みー挨拶語の活動を例に」, 東アジア日本研究者協議会第 4 回国際学術大会, 2019 年 11 月 2 日, 台湾, 台北.
15. 陳姿菁 (2018) 「会話活動による自己評価の一考察」, 2018 逢甲大學第六屆外語文教學國際學術研討會未試之境:新南向下的外國語文教學 (2018 Sixth International Conference at Feng Chia University Exploring the Uncharted Territories: Foreign Languages and Literature Teaching in Taiwan and Southeast Asia) , 2018 年 10 月 20 日, 台湾, 台中, 63-74.
16. 陳姿菁 (2018) 「日本語翻訳授業における自己評価の一考察」, The 4th Asia Future Conference, Korea, Seoul, 2018 年 8 月 26 日, 525-534.
17. 陳姿菁 (2018) 「台湾の高校における第二外国語としての日本語学習の試みー日本語パートナーズの支援を例にー」, ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会

(Venezia ICJLE 2018) , 2018年8月3日(五), イタリア、ヴェネツィア, (科技部補助 107-2914-I-424-003-A1)

18. 陳姿菁 (2018) 「Level-1 日語活動設計初探」, 十二年國教第二外語課綱教師研習: 啟動師生自主學習力, 2018年1月13日, 台灣, 台北, 27-30.
19. 陳姿菁 (2017) 「日本語学習者における発話分析—OPI 的概念を取り入れた授業を例に—」, 2017年第11回 OPI 国際シンポジウム—双方向教育における教師と学生のあり方, 2017年8月5日, 台灣、台北, 80-87.
20. 陳姿菁 (2017) 「『Level-1』日語教學活動初探-以時間為例-」, 2017年第36屆課程與教學論壇—適性學習・跨域連結—, 國家教育研究院, 2017年6月3日, 台灣, 台北, 52.
21. 陳姿菁 (2016) 「Level-1 飛行機に乗りましょう」, 教育部 105 學年度多國語文與文化連結活動計畫北區日德法西教師研習營: 培育十二年國教第二外語課綱教師研習營—以 CEFR 理念為主—「融合語言文化的 A1, A2 級課程設計與評量」, 2016年12月4日, 台灣, 台北, 55-57.
22. 陳姿菁 (2016) 「会話量を増やす会話授業の試み」, 2016 第五屆外語文教學國際學術研討會—逢甲與東南亞場域 (2016 Fifth International Symposium on Foreign Language and Literature Teaching - Feng Chia and Southeast Asia) , 2016年10月22日, 台灣, 台中, 23-34.
23. 陳姿菁 (2016) 「自律学習を促す翻訳授業の試み」, The 3rd Asia Future Conference, Japan, Kitakyushu, 2016年10月1日, 日本, 北九州, 564-573.
24. 陳姿菁, 盧碧蓮, 芝田沙代子 (2015) 「Level-1 主題式學習設計初探—以新第二外語課綱為中心—」, 依據新課綱第二外語領域的中等教育教師培育研習: 「我國第二外語師資培育政策座談會&主題式學習方案設計發表會」 2015年12月26日, 台灣, 台北, 77-89.
25. 陳姿菁 (2015) 「OPI 的概念を取り入れた会話授業の試み」, 第10回国際 OPI シンポジウム, 2015年8月2日, 日本, 函館, 88-91. (科技部補助 104-2914-I-424-006-A1)
26. 陳姿菁 (2015) 「自己評価リストを用いた会話活動の実践」, Can-do 実践研究国際シンポジウム—J-GAP のこれから—台灣、韓国、日本の発足・推進・今後—, 2015年3月7日, 98-105, 台灣, 台北.
27. 陳姿菁 (2014) 「外国語学習に影響を与える要因の一考察—「第二言語習得」の学習者のフィードバックから—」, 2014年度台灣日本語文學國際學術研討會—學習人口銳減時期之台灣日本語文教育課題—, 2014年12月20日, 100-106, 台灣, 台北.

28. 陳姿菁 (2014) 「初級日本会話の運用能力の一考察—OPI の会話データを基に」 2014 逢甲大學第四屆外語文教學國際學術研討會 (Fourth International Symposium on Foreign Language and Literature Teaching at Feng Chia University) , 2014 年 10 月 18 日, 33-42, 台湾, 台中.
29. 陳姿菁 (2014) 「『意見表明』の談話分析—中国語母語話者とベトナム人の中国語会話を中心に—」, The 2nd Asia Future Conference 2013, Indonesia, Bali, 2014 年 8 月 23 日, 1-10.
30. 陳姿菁 (2014) 「OPI 的概念を取り入れた第二外国語教育の試み」 The International Conference on Japanese language Education (SYDNEY-ICJLE 2014) , Australia, Sydney, 2014 年 7 月 11 日. (科技部補助 103-2914-I-424-008-A1)
31. 陳姿菁 (2014) 「華語學習者的語言學習 APP 使用分析 —以越南華語學習者為中心— (An Analysis of the Use of Chinese Language-Learning Apps : Focusing on Vietnamese Learners of Chinese in Taiwan) 」, The eighteenth Global Chinese Conference on Computers in Education (GCCCE 2014) , 2014 年 5 月 28 日, 234-235, 中国, 上海.
32. 陳姿菁 (2013) 「Can-do を利用した会話活動デザイン」, 2013 年度國際シンポジウム—台湾における日本語教育の再発見—, 台湾日本語教育学会、2013 年 11 月 30 日, 83-93, 台湾, 台北.
33. 陳姿菁 (2013) 「Can-do を利用した道案内の会話分析」, 2013 Japanese Studies Association of Australia Conference, Canberra, 2013 年 7 月 11 日, 豪州, キャンベラ. (國科會補助 102-2914-I-424-007-A1)
34. 陳姿菁・陳文瑤・上條純惠 (2013) 「台湾日本語學習者における日本語使用場面調査—第二外国語の場合—」, 2013 年春季日語教學研究發表會, 2013 年 3 月 23 日, 台湾, 台北.
35. 陳姿菁 (2013) 「日本語學習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」, 1st Asia Future Conference 2013, 2013 年 3 月 9 日, タイ, バンコク. 優秀論文受賞.
36. 陳姿菁 (2012) 「台湾人日本語學習者における TAE 会話実践授業のフィードバック—交差を中心に」, 2012 年度台灣日本語文學國際學術研討會—日本文學・語學・社會文化間之協同研究—, 2012 年 12 月 15 日, 84-90, 台湾, 台北.
37. 陳姿菁 (2012) 「『高級日語会話』における実践研究—TAE 交差を中心に」 2012 年日本語教育國際研究大会 (ICJLE) , パネルセッション, 2012 年 8 月 19 日, 日本, 名古屋.
38. 陳姿菁 (2012) 「TAE ステップ式質的研究法による「好きなタイプ」を語る実践授業の可能性」, 東吳大學日本語文學系創系四十週年紀念「2012 年日語教學國際會議」, 2012 年 4 月 28 日, 85-99, 台湾, 台北.

39. 陳姿菁 (2012) 「討論『喜歡的型』的會話課的實踐」, 2012 東吳大學外國語文學院校際學術研討會「專業外語之教學與研究」, 2012 年 3 月 24 日, 25-34, 台灣, 台北.
40. 陳姿菁 (2011) 「身体感覚を言語化する TAE 理論の實踐—「自分の話したいことを言語で表現する」會話授業の試み—」, 2011 年輔仁大學日本語文科学科國際シンポジウム「文化における身体」, 2011 年 11 月 19 日, 台灣, 台北.
41. 陳姿菁 (2011) 「TAE ステップ式質的研究法による中級日本語會話の實踐授業の可能性」台灣日本語文學會, 第 275 例會, 2011 年 10 月 15 日, 台灣, 台北.
42. 陳姿菁 (2011) 「透過聚焦表達所感—TAE 理論在華語會話教學的實踐—」首屆中國聚焦及聚焦療法高峰論壇, 2011 年 9 月 18 日, 31-34, 中國, 上海.
43. 陳姿菁 (2011) 「表現力の向上を目指す會話授業の試み」, 2011 Japanese Studies Association of Australia (JSAA) Conference (Melbourne), 2011 年 7 月 5 日, 豪州, メルボルン. (國科會補助 100-2914-I-424-009-A1)
44. 陳姿菁 (2011) 「日本人中國語學習者のあいづち習得」, 2011 年台灣日語習得研究國際學術研討會, 2011 年 3 月 5 日, 68-72, 台灣, 台北.
45. 陳姿菁 (2010) 「日本人中國語學習者の會話習得—ターンの視点から」, 2010 年台灣日語習得研究國際學術研討會, 2010 年 3 月 13 日, 100-104, 台灣, 台北.
46. 陳姿菁 (2009) 「日本人中國語學習者の會話習得—談話分析を通して—」, 台灣日語習得研究國際學術研討會議(東吳大學 LARP at SCU 研究工作坊第三回), 2009 年 3 月 15 日, 34-39, 台灣, 台北.

校外研究成果會發表

1. 陳姿菁 (2024) 「從認知負荷的觀點來探討 APP 輔助航空日文學習之教學實踐」, 教育部教學實踐研究計畫, 113 年度教育學門成果交流會, 2024 年 8 月 28 日, online.
2. 陳姿菁 (2023) 「APP 提升學生自主學習能力及學習成效之教學實踐與評估—以航空日文課程為例」, 教育部教學實踐研究計畫, 111 年度教育學門成果交流會, 2023 年 8 月 29 日, 國立臺北教育大學, 台北, 台灣.
3. 陳姿菁 (2019) 「Level-1 日語活動設計初探—以融入十二年國民基本教育課程綱要核心素養為例—」, 國立臺灣師範大學外語領域教學研究中心(中學組) 108 學年度成果發表會, 2019 年 10 月 19 日, 台灣, 台北.
4. 陳姿菁 (2018) 「Level-1 日語活動設計初探—以日語夥伴為例—」, 國立臺灣師範大學中等教育階段外語領域教學研究中心 106 學年度成果發表會, 2018 年 6 月 22 日, 台灣, 台北.

5. 陳姿菁 (2017) 「Level-1 日語活動設計初探—以十二年國民基本教育課程綱為例—」, 國立臺灣師範大學中等教育階段外語領域教學研究中心 105 學年度成果發表會, 2017 年 6 月 23 日, 台灣, 台北.

招待講演

1. Chen, Tzuching (2026) The Status and Trends of Japanese Studies and Japanese Language Education in Taiwan: Toward Constructing a Japan-Taiwan-India Academic Network, Japan-India Asia Future Forum (JIAFF): Japanese Studies in Asia: Building Academic Networks, 13th March 2026, University of Delhi, India.
2. 陳姿菁 (2022) 「新課綱的教學轉變-二外教師的挑戰」, 111 年高級中等學校第二外語教師教學專題講座, 2022 年 12 月 16 日(五)張榮發基金會國際會議中心.
3. 陳姿菁 (2021) 「疫情時代下跨空間語言文化教學及教材設計分享」, 110 年高級中等學校第二外語教師教學專題講座, 2021 年 11 月 20 日, 高雄 BOWA 學院.
4. 陳姿菁 (2021) 「疫情時代下跨空間語言文化教學及教材設計分享」, 110 年高級中等學校第二外語教師教學專題講座, 2021 年 11 月 13 日, 台中集思台中文心會議中心.
5. 陳姿菁 (2018) 「資訊科技融入日語教學」台灣, 東吳大学 (招待講演), 2018 年 11 月 21 日
6. 陳姿菁 (2018) 「第二外国語の学習指導要領を知る (認識十二年國教第二外國語文課綱)」台灣, 淡江大学 (招待講演), 2018 年 6 月 14 日
7. 陳姿菁 (2017) 「十二年國教課綱-日語課程設計與教學初探-」台灣, 東吳大学 (招待講演), 2017 年 12 月 27 日
8. 陳姿菁 (2010) 「台湾における日本語教育」台湾における日本語事情と日本語教育フォーラム, 日本, 京都大学 (招待講演), 2010 年 2 月 4 日
9. 陳姿菁 (2010) 「新たなターンの開始—日本と台湾に於ける電話での会話データから—」日本, 東北大学 (招待講演), 2010 年 1 月 21 日

教科書

1. 陳姿菁 (2021) 『誰都學得會的航空・旅遊日語』瑞蘭出版社
2. J-GAP TAIWAN 著 陳淑娟監修 (2015, Sep) 『日語 A2・B1 級的教材教法』(共著), 致良出版
3. J-GAP TAIWAN 著 陳淑娟監修 (2014, Sep) 『日語 A1・A2 級的教材教法』(共著), 致良出版

校內研究計畫

1. (2025.11.1~2026. 7.31), 「APP 輔助日語音調學習之研究初探-以漢語音調為例」, 開南大學補助校內專題研究計畫
2. (2024.11.1~2025. 7.31) 「APP 輔助日語音調學習之研究初探-以外來語音調為例」, 開南大學補助校內專題研究計畫
3. (2023.11.01-2024.07.31) 「APP 輔助日語音調學習之研究初探」, 開南大學補助校內專題研究計畫
4. (2021.11.01-2022.07.31) 「科技輔助對日語學習者自主學習成效影響之初探」, 開南大學補助校內專題研究計畫
5. (2020.11.01-2021.07.31) 「學生自我評量與學習成效之分析初探」, 開南大學補助校內專題研究計畫
6. (2012.10.1-2013.7.31) 「開南大學學生闡述意見之言談分析-以性別的角度來看」, 101 學年度開南大學補助校內性平專題研究計畫.
7. (2012.2.1-2012.7. 31) 「開南大學外籍生來台就學所需華語教材數位化先導研究」(協同), (開南大學校內) 整合型專題研究.

校外研究計畫

1. (2025.8.1- 2026. 7. 31) 「基於日語學習 APP 探討空運管理學系「基礎日文」課程學習者之認知負荷、後設認知及學習行為關係研究」, 教育部教學實踐研究計畫, PED1141979
2. (2024.8.1- 2025. 7. 31) 「從認知負荷的觀點來探討 APP 輔助航空日文學習之教學實踐」, 教育部教學實踐研究計畫, PED1135742
3. (2022.8.1- 2023. 7. 31) 「探討 APP 對低成就日語學習者學習成效及自主學習能力之影響」, 國科會計畫, MOST111-2410-H-424-005-
4. (2022.8.1- 2023. 7. 31) 「APP 提升學生自主學習能力及學習成效之教學實踐與評估-以航空日文課程為例」, 教育部教學實踐研究計畫, PED1110304
5. (2020.1.1- 2020. 12. 31) 「大學生自我評量設計及認知能力之分析—以語言課程為中心」, 「補助青年學者暨跨領域研究學術輔導與諮詢」, 科技部人文社會科學研究中心, MOST 107-2420-H-002 -007 -MY3-Y10907
6. (2019.2.1- 2019. 7. 31) 「Level-1 日語活動設計初探—以融入十二年國民基本教育課程綱要核心素養為例—」, 「教育部中等教育階段外語領域教學研究中心臨床教學與教學實驗」, 中等教育階段外語領域教學研究中心.
7. (2017.10.1-2018.6.30) 「Level-1 日語活動設計初探—以日語夥伴為例—」, 「教育部中等教育階段外語領域教學研究中心臨床教學與教學實驗」, 中等教育階段外語領域教學研究中心.

8. (2016.11.1-2017.7.31) 「Level-1 日語活動設計初探—以十二年國民基本教育課程綱為例一」, 「教育部中等教育階段外語領域教學研究中心臨床教學與教學實驗」, 中等教育階段外語領域教學研究中心.
9. (2012.4-2016.3) 「J-GAP TAIWAN」 國際交流基金助成 (協同)
10. (2013.11.1-2014.4.30) 「以「Can-do」 概念為中心的會話活動之設計研究」, 102年國科會人文社會科學研究中心補助青年學者學術輔導與諮詢, NSC 102-2420-H-002-001-Y10221, NSC 103-2420-H-002-001- Y10221

證照／資格

教育部華語師認證 (Ministry of Education Certificate of Proficiency in Teaching Chinese as a Second/Foreign Language)

OPI tester (ACTFL OPI Tester of Japanese with Full Certification)

Cambridge EMI (Cambridge English Certificate in EMI Skills)

Oxford EMI (Oxford EMI training, English Medium Instruction Certificate for University Lecturers)

SDSU EMI (EMI Teacher Training)